

素朴なギモンなんですが……

面接で差がつくんですか？

結局、どの受検者も同じような評価がつけられるという気がします……

普通にやっても差はつきません。しかし、このテキストで差をつける方法を教えます。

差のつくポイントは「笑顔」「姿勢」「態度」ですか？

——いいえ、ちがいます

キーワードは**具体性**です。



高校入試 面接の目的としくみ

面接の基本の基本を知る



面接を行うのは何を見るため？ そもそも目的は2つ

- ①やる気のない人物を入れない ②やる気のある人物を評価する

面接の目的は以上の2つです。みなさんの側から見れば「真剣さとやる気」をアピールする場であるといえます。したがって、面接対策は以下の2つに分かれます。

- ① やる気がないように見えないための「守り（減点されない）」の対策
- ② やる気満点に見せる「攻め（加点を狙う）」の対策

今回の基本編を終えたら、まず②を「攻撃編」で、①を「守備編」でマスターします。

どうやって評価する？ 評価の観点（ポイント）があります★次ページに！

面接の形式 ——大きく分けて2とおり

■**個人面接** ——生徒1人 対 先生1人（または複数）

緊張しますが、その反面、自分のペースできっちりと答えることができるので、しっかり準備できていればむしろ楽しんで受けられます。

■**集団面接** ——生徒数人 対 先生数人

【**基本型**】 複数の生徒がある質問に順番に解答するもの。前の生徒の答えにあまり影響されないように、あくまでも自分のペースを守ること。

【**集団討論型**】 与えられたテーマについて議論したり、意見を発表するもの。特別な意見は基本的に不要です。本書にある「抽象+具体」できちんと意見を述べれば心配無用です。

面接：評価の具体例①

神奈川県の場合を例に

面接を得点化し評価するためのしくみ

面接の評価の具体的方法を、神奈川県公立高校入試を例に説明します。2013年度から神奈川県の公立高校は、全受験者に面接を課しています。そして、面接の結果がはっきり点数化され、合否判定に使われます。その比率はかなり大きいものです。

入試の選抜には、学力検査と調査書（いわゆる内申）と面接を合計した得点を用います。この合計点は1000点。そのうち、面接はというと、ほとんどの学校が200点としています。このようにはっきりと得点化する、と示すことはめずらしいものです。



この200点をどのようにつけるかを知ることで、面接における大切なポイントをつかむことができるのです。

面接の評価方法 意欲を見る・極力客観的に評価する

神奈川県の面接は「意欲を評価するために行う」とされています。では、どうやって意欲を評価し、客観的に評価するのでしょうか？ このポイントは次の2つです。

① 態度（表情やしぐさ・話し方） ② 話す内容

この2つでどうやって評価するのか、説明しましょう。「意欲」が見えやすい人もそうでない人もいます。ですから、①の「表情やしぐさ・話し方」は、こうすれば特別にいい印象を与えられるという方法よりも、悪い印象を与えないことが大切です。もし、みなさんが本当にその高校に入りたいという「意欲」をもっているならば当然、その高校の先生方に好印象を与えるような態度をとるはず、ということなのです。それに、態度はどうしても評価する人の好み、主観によって行われますから、特別なことがなければ、大きく減点も加点もできないと考えることができます。

そこで、減点されないためのマナーは、本書の「守備編」でしっかりまとめ、身につけてください。

次に②の話す内容です。詳しくは本書の「攻撃編」で記します。ここでは「具体性」が勝負のポイントである、とだけおぼえておいてください。

- ① 態度（表情やしぐさ・話し方） ⇒ 守備編 (P.33～)
 ② 話す内容 ⇒ 攻撃編 (P.9～)

判定の実例 神奈川県——面接は「観点ごとに段階的に評価」するしくみ

面接が、実際にどのような方法で評価されているのか、まず、次の2つのことばを確認してください。

- ① 観点 どのような点で判断するかという項目（＝判定するための項目）
 ② 評価 優劣の段階（＝得点）

学力検査でいえば、観点は科目、評価は得点といえます。

面接の主な観点（判定するためのポイント）

- ・入学希望の理由 ・中学校での教科等に対する学習意欲 ・中学校での教科等以外の活動への意欲
- ・高校での教科等に対する学習意欲 ・高校での教科等以外の活動への意欲 ・面接の態度 ——など

面接の評価方法◎+, ◎, ○+, ○, △ の5段階（3段階以上とされています。この例では5段階）

高校は、あらかじめさだめた観点に基づいて5段階の評価を行い、それを点数化して判定に用いるのです。



長所と特性 自己分析

自分自身のことをどう思っているか

月 日

長所とは何か 「長所」に決まりはない——長所は短所の裏返し

副題のとおり「長所」に特別な決まりはありません。「私に長所があるのかといわれても……」という人こそ、続きをよく読んでください。

タイトルの「特性」に注目。いい悪いではなく、はっきりとした性格のことですね。

たとえば、小学校から死ぬまでずっとトランペット一筋で、他のことには目もくれないという人がいたとします。「ぶれることなくうちこんだ」といえば長所にきこえますし、「頑固で、視野が狭い」といえば短所になってしまいます。同じように「落ち着きがない」と「いろいろなことに関心があり、興味の幅が広い」も、ある特性の評価をひっくり返しただけの関係なのです。

短所は見方を逆転させれば長所になる このことをおぼえておいてください。

まず、あなた自身の「特性」を書きましょう。長所も短所もあわせて、感じるままに書いてください。そして、短所は、今やったようにひっくり返して長所にしてしまいましょう。

書けたら、次に具体例です。「辛抱強い」という長所なら、それを裏づける具体的な事実を書いてください。これで、説明できる状態になります。

私の特性① 長所・短所どちらでも書く	特性①の具体的事実 記憶しているできごとを書く
特性： 第一印象では [長所 ・ 短所] 短所の場合：長所に変えると次のようになる	いつ： どんなことが：
私の特性② 長所・短所どちらでも書く	特性②の具体的事実 記憶しているできごとを書く
特性： 第一印象では [長所 ・ 短所] 短所の場合：長所に変えると次のようになる	いつ： どんなことが：
私の特性③ 長所・短所どちらでも書く	特性③の具体的事実 記憶しているできごとを書く
特性： 第一印象では [長所 ・ 短所] 短所の場合：長所に変えると次のようになる	いつ： どんなことが：



ここまでできたら、次は他人の目から見たあなたの特性 (= 長所) です。ちょっと照れくさいでしょうが、積極的
に身のまわりの人にインタビューを試みてください。



私の特性① 長所・短所どちらでも書く	特性①の具体的事実 記憶しているできごとを書く
特性：ゆっくり構えずぎて行動が遅い 第一印象では [長所 ・ <u>短所</u>] 短所の場合：長所に変えると次のようになる おだやかで他人を安心させる	いつ：東日本大震災のとき どんなことが：停電と余震の中、家でローソクの火でのんびり本を読んだ。楽しそうにしていたら「あなたを見てると気が抜けて落ちつくね」と祖母にいわれた。

短所⇒長所へのひっくり返し方がわからなかったら、担当の先生に質問しよう。

これまでと同じで、可能な限り具体的なエピソードを書く。「よく○○といわれる」だけでは何も説明していないに等しい。

長所と特性 調査結果

その長所・短所は、他人の目にどう映っているか

月 日

他人からどう見えるか 2つのグループに調査

自分の見ている自分の特性と、外から見るそれが異なることはよく起こります。比較することで、より掘り下げた自分の姿をつかむことができるかもしれません。

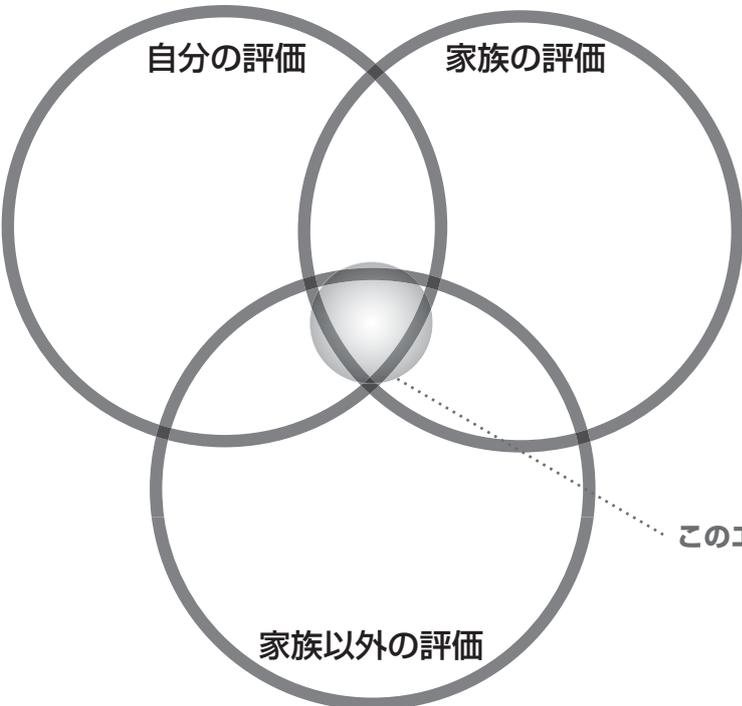
調査はかんたんです。2つのグループの誰かに、あなたの長所（または特性）が何だと思うのか質問するのです。なお「2つのグループ」とは次のとおり。

- ①**家族** あなたのプライベートを知っている
 - ②**家族以外** あなたのプライベートを知らない
- なお、枠は狭いのですが、なるべくたくさん聞いて、メモしてください。余白も他の用紙も使ってください。



家族からの証言 インタビュー結果を書く	
私の特性 長所・短所どちらでも書く	特性の具体的事実 話してもらって書く
特性： 第一印象では [長所 ・ 短所] 短所の場合：長所に変えると次のようになる 証言した人：	いつ： どんなことが：
家族以外からの証言 インタビュー結果を書く	
私の特性 長所・短所どちらでも書く	特性の具体的事実 話してもらって書く
特性： 第一印象では [長所 ・ 短所] 短所の場合：長所に変えると次のようになる 証言した人：	いつ： どんなことが：

私の「特性図」を作る 「本当の私」はどこにいる？ 結果を P.26 に記入



これで、あなた自身・家族・家族以外という3つの視点からの「あなた」がそろいました。これを図にまとめます。「本当の私」などというものがあるかどうかわかりませんが、3つの視点に重なりがあれば、それがナンバーワン候補かもしれません。

それがあたっているかどうかは別にしても、こうやって自分自身の長所・特性を研究したという説明をすれば、面接官もそれだけで興味をそそられ、耳を傾けてくれるにちがいない。

あまり真剣になりすぎず、ある種の気の利いた占い、くらのつもりで試みてください。

